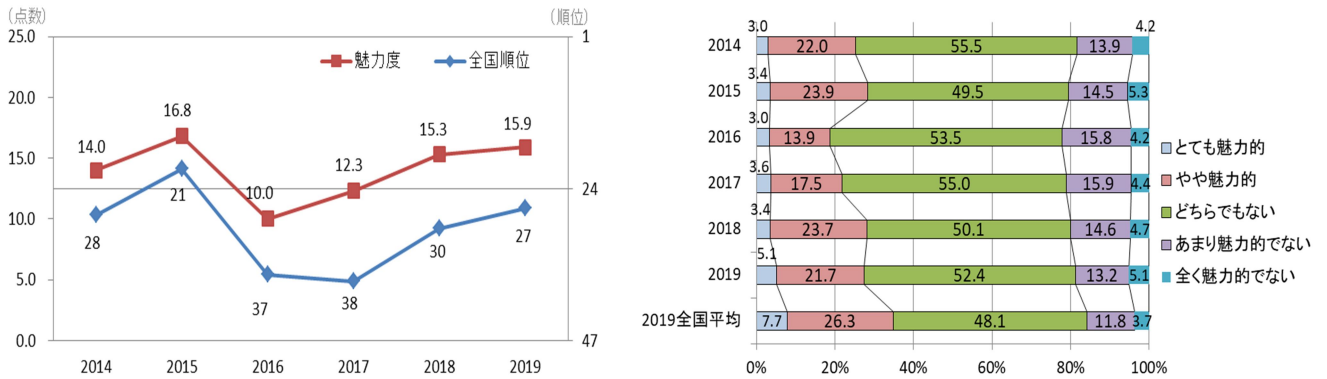
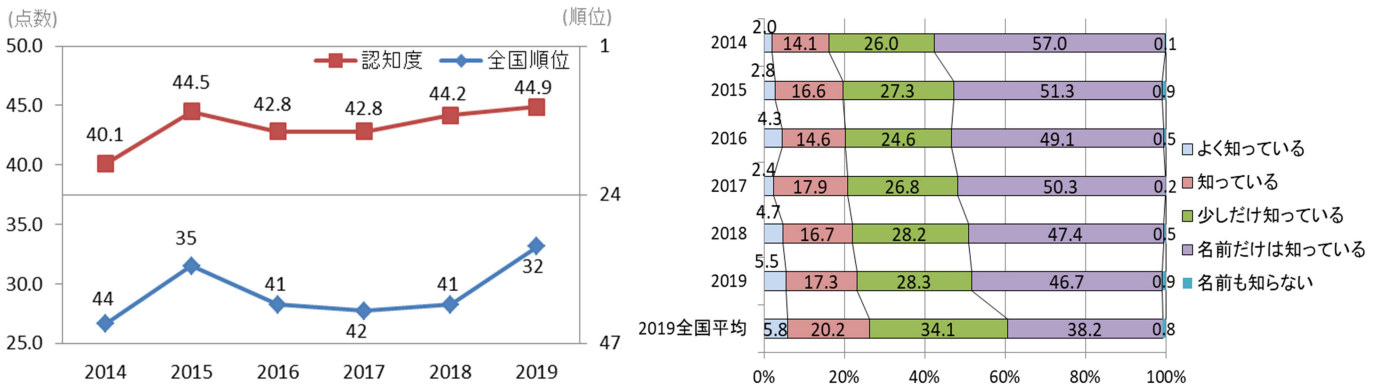


【図21 山形県の魅力度】



資料：(株)ブランド総合研究所「地域ブランド調査2019」

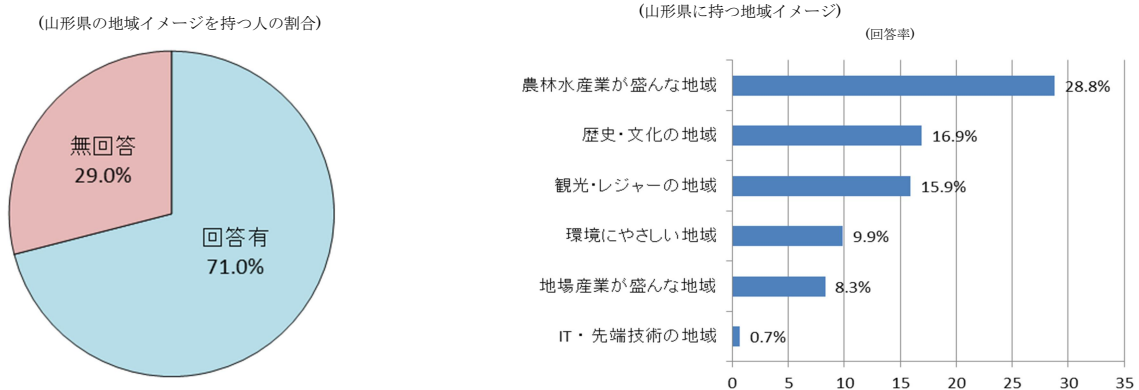
【図22 山形県の認知度】



資料：(株)ブランド総合研究所「地域ブランド調査2019」

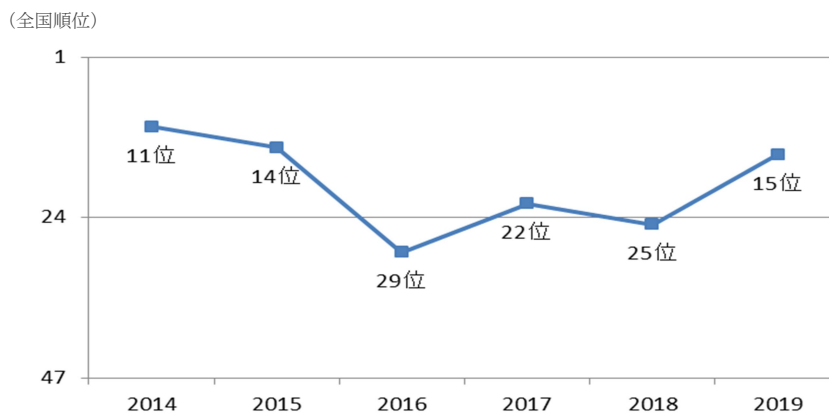
また、本県についての地域イメージを持つ人は7割程度と、東北6県の中では最も低い状況にある。

【図23 山形県の地域イメージ】



資料：(株)ブランド総合研究所「地域ブランド調査2019」

【図24 山形県産品の購入意欲度】



資料：(株)ブランド総合研究所「地域ブランド調査2019」

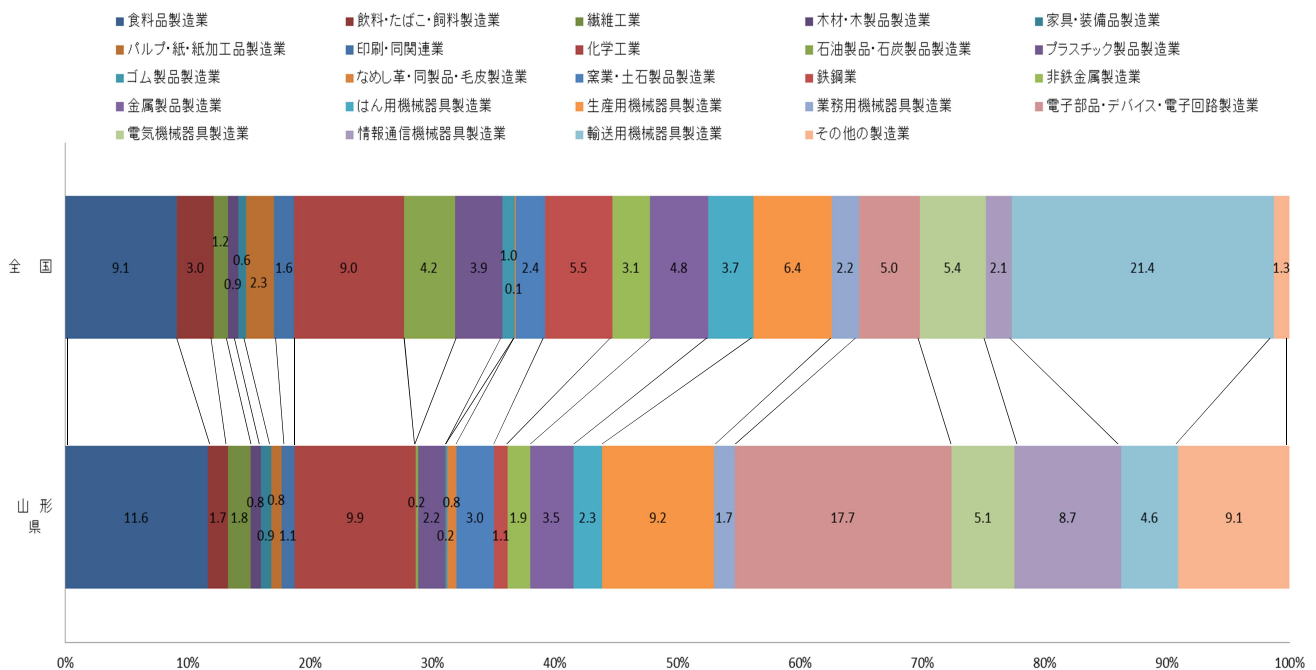
こうしたことを踏まえれば、本県は、魅力はあるものの、その魅力が消費者に十分に伝わっておらず、まだブランド力を高めていく余地があることから、浸透度の高い効果的な情報発信により、県産品や観光資源の認知度向上を図っていく必要がある。

② 製造業

(7) 製造業の現状

本県製造業は、機械機器の製造などを行う加工組立型産業の構成比が高く、中でも情報通信機器や電子部品・デバイス⁶の集積が高いことが特徴であるが、これら以外にも幅広い技術分野の企業が集積しており、大きな強みとなっている。このような強みを活かし、個々の企業の技術の更なる高度化を図りながら、情報サービス産業など他産業も含め、相乗効果や総合力を発揮できる企業間連携や企業集積を形成し、国内外における競争力を高めていくことが重要である。

【図25 製造業の製造品出荷額等の構成割合（対全国比）】



	生活関連・その他産業							加工組立型産業							基礎素材型産業									
	食品	飲料	繊維	家具	印刷	皮革	その他	はん用機械	生産用機械	業務用機械	電気機械	情報通信	電子部品・デバイス	輸送用機械	木材	パルプ・紙	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属製品
全国	9.1	3.0	1.2	0.6	1.6	0.1	1.3	3.7	6.4	2.2	5.0	5.4	2.1	21.4	0.9	2.3	9.0	4.2	3.9	1.0	2.4	5.5	3.1	4.8
山形県	11.6	1.7	1.8	0.9	1.1	0.8	9.1	2.3	9.2	1.7	17.7	5.1	8.7	4.6	0.8	0.8	9.9	0.2	2.2	0.2	3.0	1.1	1.9	3.5
対全国比 (全国=100)	127.5	56.7	150.0	150.0	68.8	800.0	700.0	62.2	143.8	77.3	354.0	94.4	414.3	21.5	88.9	34.8	110.0	4.8	56.4	20.0	125.0	20.0	61.3	72.9
	全国 16.9 山形県 27.0							全国 46.2 山形県 49.3							全国 37.1 山形県 23.6									

資料：経済産業省「工業統計調査（平成30年）」

また、医療・福祉・健康、環境・エネルギー、食品・農業など、今後成長が期待される分野への進出を促進し、特定の業種や企業の動向に影響されにくい産業構造への移行を図っていくことも求められる。

⁶ デバイス：特定の機能を持つ装置や電子回路などの構成要素となる個々の部品のこと

【表3 今後成長が期待される分野】

成長期待分野	背景・市場性等	本県の現状と可能性
自動車 関連産業	○自動車の世界販売台数は、2018年に1億台を超え、2020年には1億500万台近くまで拡大が見込まれる。 ○次世代自動車について、国では新車販売に占める割合を2030年までに50～70%とする目標	○ティア1企業など中核的企業の存在 ○次世代自動車研究会の活動による技術や気運の高まり ○工業技術センターが有する超精密加工技術や鑄造技術をベースとした展開や部品の軽量化への取組み
航空機 関連産業	○航空機産業の世界市場は、現在の約50兆円から今後20年間で300兆円まで拡大が見込まれる ○国内生産額は、1.1兆円(2011年)から1.8兆円(2017年)に増加、2030年には3兆円を超えると見込まれる。	○航空機メーカーとの取引企業など先行企業の存在 ○山形県航空機産業地域戦略研究会の活動による技術や気運の高まり ○航空エンジン大手企業の工場との近接性
ロボット 関連産業	○ロボット産業の市場規模は、2025年には3.5兆円、2035年には9.7兆円まで成長すると見込まれる ○国は「ロボットによる新たな産業革命の実現」に向け、2020年までにロボット市場を製造分野で2倍、サービス分野で20倍に拡大する目標	○産業用ロボットに関するハードウェアに取り組む企業の存在 ○山形大学工学部や鶴岡工業高等専門学校でのロボットに関する研究の実施 ○工業技術センターでのロボットの要素技術であるセンシング技術の活用
環境・エネルギー 関連産業	○新エネルギー産業の世界市場は、2010年30兆円から2020年86兆円に拡大が見込まれる	○山形県新エネルギー事業化促進協議会の活動による技術や機運の高まり ○バイオマスや小水力発電など地域資源を活用した再生可能エネルギーの事業化 ○工業技術センターのセンシング及び情報処理技術を活用した水や大気環境測定器や生産現場の省エネ診断システムの開発
医療・福祉・健康 関連産業	○医療機器の世界市場は年間約8%成長 ○ヘルスケア産業の市場規模は、2020年に26兆円、2030年には37兆円に拡大が見込まれている	○医療・福祉現場が有する課題解決に取り組む地域の企業グループの存在 ○県内企業が得意とする精密加工や電子・デバイス技術の活用 ○山形大学医学部での次世代型重粒子線がん治療施設整備による機運の高まり
食品・農業 関連産業	○世界の食市場規模(日本市場を除く)は2009年の340兆円から2020年には680兆円へ拡大が見込まれる	○県内各地に幅広い種類の食品製造業が集積 ○山形大学、慶應先端研、工業技術センターの技術シーズを活用した高度な機能性食品の開発

(イ) 本県製造業の技術力と試験研究機関等

県内企業の長年にわたる研鑽により、本県製造業の技術は東北では高い水準にあり、中小企業庁が選定する「がんばる・はばたく中小企業・小規模事業者300社」に平成26年度からの6年間で25社が選定されており、東北一の選定数となっている。また、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省の4省が連携して実施している「ものづくり日本大賞」においても、平成19年以降毎回県内の企業や現場の中核を担う個人が受賞しており、直近の第8回ものづくり日本大賞では、9件が受賞している。